

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

1)書籍

著者名	書名	出版者	発行年	総ページ数
鈴木登	臨床アレルギー学 改訂第3版 「免疫グロブリン」	南江堂	2007	15-27
鈴木登	在宅看護・介護のための難病ガイド 改訂第2版 「原発性免疫不全症候群」	日本医学出版	2007	印刷中
鈴木登	在宅看護・介護のための難病ガイド 改訂第2版 「特発性好酸球増多症候群」	日本医学出版	2007	印刷中
鈴木登	わかりやすい内科学 第3版 「免疫不全の分子機構」	文光堂	2007	印刷中
長田賢二、御園生篤志、 中野三穂、大友雅広、 高橋清文、高橋美保、 小川百合子、金井重人、 田中大輔、貴家康男、 朝倉幹雄	精神科医からみた薬物療法	繊維筋痛症ハンドブック	2007	121-129

2) 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
Atoh K, Kurokawa MS, Yoshikawa H, Masuda C, Takada E, Kumagai N, Suzuki N	Induction of melanocyte precursors from neural crest cells surrounding the neural tube like-structures developed in vitro using mouse ES cell culture	Inflammation and Regeneration	27(1)	45-52	2007
Maruyama T, Nara K, Yoshikawa H, Suzuki N	Txk, a member of the non-receptor tyrosine kinase of the Tec family, forms a complex with poly (ADP-ribose) polymerase 1 and elongation factor 1a and regulates interferon-g gene transcription in Th1 cells	Clinical and Experimental Immunology	147(1)	164-175	2007
Takenaga M, Ohta Y, Tokura Y, Hamaguchi A, Suzuki N, Nakamura M, Okano H, Igarashi R	Plasma as a scaffold for regeneration of neural precursor cells after transplantation into rats with spinal cord injury	Cell Transplantation	16(1)	57-65	2007
Mihara S, Suzuki, N	Role of Txk, a member of Tec family tyrosine kinases, in immune-inflammatory diseases	International Reviews of Immunology	(26)	1-15	2007
Ueno H, Kurokawa MS, Kayama M, Homma R, Kumagai Y, Masuda C, Takada E, Tsubota K, Ueno S, Suzuki N	Experimental transplantation of corneal epithelium-like cells induced by PAX6 gene transfection of mouse embryonic stem cells	Cornea	26(10)	1220-1227	2007
黒川真奈絵、田子玲子、高田えりか、奈良和彦、鈴木登	角膜再生治療の現状とカニクイザル胚性幹細胞を用いた角膜上皮細胞移植研究	聖マリアンナ医科大学雑誌	35	143-149	2007
熊谷悠太、上野宏樹、鈴木登	角膜再生治療の現状とカニクイザル胚性幹細胞を用いた角膜上皮細胞移植研究	聖マリアンナ医科大学雑誌	35(2)	109-117	2007
鈴木登、高井憲治	基礎医学教育の現状と課題	聖マリアンナ医科大学雑誌	35 (増刊号)	S45-S47	2007
吉川英志、鈴木登	ニコチンによる炎症メディエーターの産生抑制	臨床免疫・アレルギー科	(48)2	182-188	2007
黒川真奈絵、尾崎志雲、吉川英志、鈴木登	阻血再灌流後の腎組織障害に対するFas依存性アポトーシス抑制による治療効果	Inflammation and Regeneration	27(2)	124-129	2007
Kurokawa MS, Suzuki N	Behcet's Disease	Current Research in Immunology		in press	2007
Kayama M, Kurokawa MS, Ueno H, Suzuki N	Recent advances of corneal regeneration and possible application of embryonic stem (ES) cell derived corneal epithelial cells	Clin Ophth	1(4)	373-382	2007
杉山恒之、中村悦子、山口登	期待される新規作用機序の抗認知症薬	臨床精神薬理	10(11)	2019-2026	2007
長谷川浩、中村悦子、朝倉幹雄、山口登	塩酸ドネペジル中断後に幻視体験が悪化したレビー小体型認知症の一例	精神医学	50	印刷中	2008
中村悦子、柳田浩、山口登	アルツハイマー病の重症度と海馬体積および海馬左右比との関係	老年精神医学雑誌	18	1217-1223	2007

長谷川浩、朝倉幹雄、 中野三穂、長田賢二、 山口登	前頭側頭型認知症にパーキンソン症候群を 合併した一例	精神医学	49	1129-1132	2007
荻野あずみ、杉山恒 之、山口登	アルツハイマー型認知症の記憶・認知機能 障害に対するdonepezilの効果内容と効果出 現の関連因子について	臨床精神薬理	10(1)	93-101	2007
山口登	塩酸ドネペジルの使い方-家族、介護者への 説明の重要性の観点から	CLINICIAN	558(54)	430-449	2007
丸田智子、岡田容子、 廣井朋子、増田陽子、 桑原理恵、神山廣司、 長谷川浩、足立 淳、 長田賢二、朝倉幹雄、 山口登、松井宏晃	ヒト脳型トリプトファン水酸化酵素遺伝子発現 調節機構:転写抑制配列の同定と機能解析	日本神経精神 薬理学会雑誌	27	322	2007
長田賢二	うつ病患者におけるSSRI, SNRI惹起性性機 能障害への対策	精神科治療学	22(11)	1265-1270	2007
Hasegawa H, Osada K, Yamaguti N	Schizophrenia	Super Review	25	1-10	2007

3) 学会発表

発表者氏名	論文タイトル名	発表学会名	発表年度
Kurokawa MS, <u>Suzuki N</u> , Kato T	ベーチェット病末梢血単核球における発現蛋白の網羅的検討	第37日本免疫学会総会・学術集会	2007
奈良和彦、黒川真奈絵、松田隆秀、 <u>鈴木登</u>	神経ベーチェット病における炎症性サイトカイン産生とその責任細胞の検討	第37日本免疫学会総会・学術集会	2007
嘉山真紀、黒川真奈絵、上野宏樹、熊谷悠太、千葉俊明、田所衛、上野聰樹、 <u>鈴木登</u>	pax6遺伝子導入によるマウス胚性幹細胞の網膜神経節細胞への分化誘導	第10回日本組織工学会	2007
上野宏樹、黒川真奈絵、嘉山真紀、熊谷悠太、本間龍介、坪田一男、上野聰樹、 <u>鈴木登</u>	マウス胚性幹細胞より分化誘導した角膜上皮様細胞の特徴と角膜損傷モデルへの移植	第10回日本組織工学会	2007
熊谷悠太、黒川真奈絵、上野宏樹、嘉山真紀、坪田一男、中辻憲夫、仁藤新治、上野聰樹、 <u>鈴木登</u>	霊長類胚性幹細胞を用いた角膜上皮細胞の分化誘導と移植治療への応用	第10回日本組織工学会	2007
間淑郎、黒川真奈絵、奈良和彦、千葉俊明、池田律子、仁藤新治、中辻憲夫、橋本卓雄、 <u>鈴木登</u>	片麻痺モデルマウスにおける霊長類胚性幹(ES)細胞由来神経細胞移植の有用性	第66回日本脳神経外科学会総会	2007
嘉山真紀、黒川真奈絵、上野宏樹、熊谷悠太、千葉俊明、田所衛、上野聰樹、 <u>鈴木登</u>	Pax6遺伝子導入によるマウス胚性幹細胞の選択的網膜神経節前駆細胞への分化誘導	第28回日本炎症・再生医学会	2007
熊谷悠太、黒川真奈絵、上野宏樹、嘉山真紀、坪田一男、中辻憲夫、仁藤新治、上野聰樹、 <u>鈴木登</u>	カニクイザル胚性幹細胞の角膜上皮細胞への分化誘導及び移植治療への応用実験	第28回日本炎症・再生医学会	2007
上野宏樹、黒川真奈絵、嘉山真紀、熊谷悠太、本間龍介、坪田一男、上野聰樹、 <u>鈴木登</u>	マウス胚性幹細胞より分化誘導した角膜上皮様細胞の特性と角膜損傷モデルへの移植治療	第28回日本炎症・再生医学会	2007
間淑郎、黒川真奈絵、池田律子、仁藤新治、中辻憲夫、近藤靖、長田 乾、橋本卓雄、 <u>鈴木登</u>	カニクイザルES細胞からの運動神経分化誘導と脳損傷マウスへの移植応用	第28回日本炎症・再生医学会	2007
黒川真奈絵、 <u>鈴木登</u>	ウス胚性幹細胞からの血管内皮細胞の誘導	第28回日本炎症・再生医学会	2007
<u>Suzuki N</u>	Immune and inflammatory responses in Behcet's Disease	Japan Korea Joint Meeting on Behcet's Disease	2007
黒川真奈絵、加藤智啓、 <u>鈴木登</u>	ベーチェット病患者末梢血単核球における発現蛋白の網羅的解析。厚生労働科学研究(難治性疾患克服研究事業)ベーチェット病に関する調査研究	平成19年度第1回研究班会議	2007
黒川真奈絵、 <u>鈴木登</u>	胚性幹細胞由来血管内皮細胞および壁細胞の分化・増殖・維持に与える禁煙の影響	第22回 平成18年度喫煙財団助成研究発表会	2007
Kayama M, Kurokawa MS, Ueda Y, Ueno H, Kumagai Y, Masuda C, Takada E, Ueno S, Tadokoro M, <u>Suzuki N</u>	Induction of Differentiation Into Retinal Ganglion Cells of Mouse Es Cells by Pax6 Gene Transfection	The Association for Research in vision and Ophthalmology 2007	2007
Kumagai Y, Kurokawa MS, Ueno H, Kayama M, Tsubota K, Nakatsuji N, Nito S, Ueno S, <u>Suzuki N</u>	Induction of Corneal Epithelium-Like Cells From Cynomolgus Monkey Embryonic Stem Cells and Their Experimental Transplantation to Damaged Cornea	The Association for Research in vision and Ophthalmology 2007	2007

Ueno H, Kurokawa MS, Kumagai Y, Kayama M, Homma R, Masuda C, Takada E, Tsubota K, Ueno S, <u>Suzuki N</u>	Characterization of Corneal Epithelium Like Cells Induced by Pax6 Gene Transfection of Mouse Embryonic Stem Cells	The Association for Research in vision and Ophthalmology 2007	2007
黒川真奈絵、松田隆秀、鈴木登	神経ペーチェット病の病態形成における炎症性サイトカインの役割	第51回日本リウマチ学会総会・学術集会	2007
奈良和彦、黒川真奈絵、金子栄、吉川英志、松田隆秀、鈴木登	一チェット病患者の病変局所におけるTLRを介したTh1優位の免疫応答	第51回日本リウマチ学会総会・学術集会	2007
野中信宏、黒川真奈絵、池島秀明、松田隆秀、鈴木登	経ペーチェット病の病態形成における炎症性サイトカインの役割	第104回日本内科学会総会・講演会	2007
上野宏樹、黒川真奈絵、嘉山真紀、熊谷悠太、本間龍介、坪田一男、上野聰樹、鈴木登	マウス胚性幹細胞より分化誘導した角膜上皮様細胞の角膜損傷モデルへの移植	第6回日本再生医療学会総会	2007
山真紀、黒川真奈絵、上野宏樹、熊谷悠太、田所衛、上野聰樹、鈴木登	Pax6遺伝子導入によるマウス胚性幹細胞の網膜神経節前駆細胞への分化誘導	6回日本再生医療学会総会	2007
熊谷悠太、黒川真奈絵、上野宏樹、嘉山真紀、本間龍介、坪田一男、上野聰樹、鈴木登	カニクイザル胚性幹細胞からの角膜上皮細胞の分化誘導と移植治療への応用	第6回日本再生医療学会総会	2007
間淑郎、黒川真奈絵、池田律子、仁藤新治、中辻憲夫、橋本卓雄、鈴木登	カニクイザルES細胞からの運動神経分化誘導と脳損傷マウスへの移植応用	第6回日本再生医療学会総会	2007
黒川真奈絵、鈴木登、加藤智啓	ペーチェット病患者末梢血単核球における発現蛋白の網羅的検討. 厚生労働科学研究(難治性疾患克服研究事業)ペーチェット病に関する調査研究	平成19年度第2回研究班会議	2007
奈良和彦、黒川真奈絵、鈴木登、松田隆秀	神経ペーチェット病における病態形成の検討. 厚生労働科学研究(難治性疾患克服研究事業)ペーチェット病に関する調査研究	平成19年度第2回研究班会議	2007
Hiroi T, Okada T, Masuda T, Kuwabara R, Kouyama H, Hasegawa H, Maruta S, Adachi A, Asakura M, <u>Yamaguchi N</u> , <u>Matsui H</u>	Regulation of the tryptophan hydroxylase-2 gene promoter activity in immortalized serotonergic RN46A cells	37th Annual Meeting for Neuroscience Society	2007
<u>Osada K</u> , Misonoo A, Nakano M, Ootomo M, Ogawa Y, Takahashi K, Takahashi M, Kanai S, Tanaka D, Asakura M, Inoue Y, <u>Yamaguchi N</u>	Chronic trifluoperazine treatment increased P-glycoprotein in the rat brain	37rd Annual Meeting of Neuroscience	2007
Nakano M, Misonoo A, <u>Osada K</u> , Kanai S, Tanaka D, Ootomo M, Sasuga M, Takahashi K, Takahashi M, Ogawa Y, Asakura M	Fluvoxamine induces phosphorylation of Akt in PC12	37rd Annual Meeting of Neuroscience	2007
長田賢一、御園生篤志、中野三穂、高橋清文、小川百合子、高橋美保、金井重人、田中大輔、貴家康男、宮本聖也、朝倉幹雄、 <u>山口登</u>	Trifluoperazineのラット慢性投与後の脳内P糖蛋白質への影響	第26回躁うつ病の薬理・生化学的研究懇話会	2007

V. 平成 19 年度班員名簿

平成 19 年度 長寿科学総合研究事業

研究分野	ライフサイエンス		
研究課題名	霊長類胚性幹細胞をもちいた認知症、アルツハイマー病に対する新規治療法開発に関する研究		
課題番号	H19-長寿-一般-021		
区分	氏名	所属	職名
主任研究者	鈴木 登	聖マリアンナ医科大学 免疫学・病害動物学	教授
分担研究者	山口 登	聖マリアンナ医科大学 神経精神科学	教授
分担研究者	松井 宏晃	聖マリアンナ医科大学 大学院アイソトープ研究施設	教授
分担研究者	長田 賢一	聖マリアンナ医科大学 神経精神科学	講師